

山田みやこの活動報告

平成30年12月2日(日)

自然栽培と奇跡のリンゴの講演会

講師 木村秋則氏(青森県のリンゴ生産者)

演題 今伝えたいことは! 「食を考えてみませんか」

肥料・農薬・堆肥・除草剤を使わずにリンゴを栽培している。実がなるまで10年かかった。リンゴが主人で自分はリンゴの木が成長しやすいように手伝うリンゴ手伝い業という職業だとみんなには言う。土は生きている。

落ち葉や雑草から作られる土は100年で1センチ。

土には数えられない程の菌やカビが生きている。土は海と同じく全ての命を育てる源。

肥料・農薬・除草剤は農作業の重労働を少なくする事への貢献はある。しかし農薬や除草剤を使うことで耐性ができてしまい、更に処理できない害虫・雑草になってしまった。化学資材(物質)に頼りすぎることはダメだということ。

有機農法は安全かという点、未熟堆肥を使うことが怖い。堆肥は2~3年熟成して土に返さなければ効力は発揮できないもので時間がかかる。未熟堆肥は硝酸態窒素が含まれ過剰摂取になってしまう。

堆肥・肥料・農薬・除草剤・堆肥などを使わない自然栽培が今、全国に広がりつつある。個人・NPO法人・障がい者施設での農福連携など100ヶ所近くで行われている。

試験的に化学物資過敏症の子どもたちのためと自然栽培を始めたが、多くの人たちが食べることになった。学校給食にも取り入れられている。

一年経過し、学校でのいじめや不登校が減少した。

「食は心をつくる」

「できないという前にどうしたらできるか考える」

「日本から世界に向けて、食の新しい発信をしてみよう!」

この言葉でくくられた。

木村さんの作ったリンゴは全国で引っ張りだこです。10年近く収穫ゼロの苦難を乗り越え、無農薬・無肥料のリンゴ栽培に成功した木村さんの熱い思いがそこにあった。

